

豊橋市土砂災害ハザードマップの活用について

【日頃のマップ活用法】

※このマップは、冷蔵庫など家族がよく目にする場所に掲示しておきましょう。

- (1) お住まいの地区のマップを見て、自分の家に印をつけてください。
- (2) 避難所を確認しましょう。避難所は、安全に利用できる最寄りの地区・校区市民館及び小・中学校です。
まず避難をする場所は、最寄りの第1指定避難所です。

※避難所は、必ずしもそこに避難しなくてはならないというものではありません。避難をする場所は、指定避難所以外でも土砂災害のおそれのない場所（親戚や知人宅等）であれば構いません。

- (3) 常日頃から避難所へ行くのに安全な道を調べ、下記の日標物や危険箇所を確認して、地図に複数の避難経路を記入しておきましょう。
 - ①夜間や浸水時には、道路と水路の区別が分かりにくくなります。ガードレールや電柱などが目印となる道路を選びましょう。
 - ②避難路は、大雨時に浸水しにくい道順を選びましょう。これには、洪水ハザードマップに示されている区域や過去に浸水した区域を参考にしてください。
- (4) マップの「わが家の防災メモ」に家族で決めた避難所や緊急連絡先等を記入し、各家庭で災害時にどのように行動するのか話し合ひましょう。また万一途中で家族が離ればなれになった時のために、集合場所を決めておきましょう。
- (5) 土砂災害ハザードマップ【情報面】をよく読み、土砂災害について学び、いざという時の行動を学びましょう。

【大雨時等のマップ活用法】

- (1) 土砂災害ハザードマップ【情報面】右ページに記載されている気象情報や避難情報が発信されていないか、テレビ、ラジオ、インターネット等を積極的に利用し、最新の情報を入手しましょう。
- (2) マップに記載してある緊急情報伝達システム（サイレン）による警報にも注意してください。
- (3) 避難をする際には、マップを携帯し、『避難の際の心得』を参考に、自主的に確実かつ安全に避難しましょう。

~~~~~

## 《参考》

### 【市内の避難情報をもっと簡単に入手するには・・・】

1. 携帯電話等から「豊橋ほっとメール」に登録をする。登録をすると、無料で緊急メール（防災・避難情報）が配信されますので、ご利用ください（通信料は発生）。詳細は、土砂災害ハザードマップ【情報面】をご覧ください。
2. 豊橋防災ラジオを購入する。このラジオは、エフエム豊橋（84.3MHz）電波を使用して、スイッチが切れていても緊急情報を24時間、いつでも最大音量で受信できるラジオです。  
詳しくは、豊橋市防災危機管理課までお問い合わせください【電話：0532-51-3116】。